

事業所6割 売り上げ減

牧之原市商工会 景況調査

新型コロナウイルス素早い支援を



杉本基久雄市長に調査結果を報告する本杉芳郎会長（右）＝牧之原市役所で

牧之原市商工会は二十一日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて実施した景況調査を発表した。

売上高が「減少している」と答えた事業所は59・1%。「50%以上減少」した事業所は16・7%、「30～50%減少」は14・7%だった。業種別では「飲食・宿泊」の九割が「減った」と回答。うち「30%以上減少した」とする事業所は七割に達した。自動車関連などの製造業も七割が減少と回答。「自動車メーカーの休業が今後影響してくる」と分析している。

市役所で、商工会の本杉芳郎会長から報告を受けた杉本基久雄市長は「意欲ある業者への側面支援や、市内での内需の喚起によって、市の経済を支え合っていきたい」とした。

調査は三～十五日に会員企業千五百五十一事業所を対象に実施した。（酒井健）